

草津市立
老上中学校
学校だより
R3(2021). 5. 26

【校訓】

★ 考 動

「自主・創造」

文責 竹田 敏彦

《 学校って何をするとところ？ 》

新学年になってほぼ2か月がすぎましたが、学校生活にはもう慣れましたか。ところでみなさんは「学校」って何をするとところ？と考えたことがありますか？「勉強するところに決まってるでしょう」という声が圧倒的に多いと思いますが、みなさんが思っている「勉強」とはおそらく「各教科の勉強」を指しているのではないのでしょうか。もちろん1日の大半が授業でありみなさんは毎日「教科の勉強」に励んでいます。しかし、学校は「教科の勉強」以外にみなさんが「勉強」している、「学んでいる」ことはたくさんあるはず。たとえば、学校の規則を守る。ルールを守る。掃除をがんばる。友達と仲良くする。人の悪口を言わない。困っている人を助ける。先生と協力をする。など学校では集団で生活していくために学ぶことがたくさんあります。ひょっとしたら、そういった「学び」は「教科の勉強」以上に大切かもしれません。学校は、「教科の勉強」はもちろんのこと、みなさんが社会に出て活躍し、自分や周りの人々が幸せな生活を送っていくすべを学ぶ場所なのです。



授業を大切に、自分で考えて学習しよう

授業は真剣に受けられていますか。教科ごとに、その時間のめあてや課題（大切なポイント）が何なのかを明確にして授業にのぞむことが大切です。授業では、その時間のめあてを達成するために、いろいろな学習活動を行います。その中には他の人の意見を聞いたり自分の意見を説明したりすることもあります。そうした活動をとおして、いろいろな導き方を知り、学びを深めていくことができます。だから是非とも、積極的に意見を述べ合ってほしいと思います。



間違いをすることは価値のあることです。間違いや失敗は新たな発見のもとになるので、恥ずかしがらず発言するようがんばってください。

「いろいろな考えを知ること」これは学校で勉強することの大きな意義の一つです。また、その学校での勉強をもとに「自分で考え勉強（実行）する力をつけること」それは、これから長い人生を生きていく中で求められることです。

そして最終的に、学校での学びを自分のものにするのは、繰り返し家庭で学習を重ねることだと思います。自分で工夫して何度も繰り返し覚えたり、問題を解いたりすることでいろいろな力が身に付き

ます。自分が「～をやろう」と決めることに値打ちがあり、その学習を続けてやっていくことが自分自身の大きな力となっていくのです。

春季総体、吹奏楽祭が終わる

5月20日(木)、21日(金)の二日間、中学校春季総合体育大会が開催されました。また、吹奏楽部は滋賀県吹奏楽祭に参加しました。昨年度の中学校春季総合体育大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため緊急事態宣言が発令され学校は休校になり、大会も開催中止という状況でありました。しかし、今年度は開閉式を行わない、無観客、午前の部、午後の部に分け昼食をとらないなど生徒が密にならないよう各種目で工夫がなされ、感染対策を徹底し大会が開催されました。日ごろの練習の成果を十分に発揮できたでしょうか。いくつかの競技会場に応援に行きましたが、全力を尽くして競技をしている生徒の姿に、たいへん感銘を受けました。精一杯のプレーや演奏をしてもなかなか結果が出せなかった人もいることでしょう。いけると思ったそのすきに相手に点を取られて悔しい思いをした人もいることでしょう。他のチームのプレーを見たり、演奏を聴いたりして、自分たちに足りないところを分析しながら、次の大会への決意を新たにす姿にもふれ、うれしく思いました。その思いを忘れず、練習を続けていけば、きっと次は満足のいく結果をものにすることができるのではないのでしょうか。



第2学年 キャリア教育「めざせマイスタープロジェクト」

5月25日(火)に2年生では、キャリア教育の一環として、滋賀県職業能力開発協会が実施されている「めざせマイスタープロジェクト」に参加し、さまざまな職種のものづくりマイスターの出前授業を受講しました。このプロジェクトは、ものづくりに焦点をあて、その道を究めた匠の技を体感し、指導を受けながら実際に体験するというものです。ものづくりを行っている2年生の皆さんの眼差しは真剣そのものでした。とても貴重な体験をしたのではないのでしょうか。この体験を今後の進路選択にも参考にしてほしいと思います。



<お礼申し上げます>

4月30日(金)と5月8日(土)に竜王興産、竹島様の御厚意で老上中学校プール横、浄水槽裏の木の伐採作業を行っていただきました。本当にありがとうございました。

